

事務事業名	公共下水道雨水施設整備事業	所属部	上下水道部	所属課	下水道課
政策名	総合計画体系 (II)環境に配慮した安全・快適な生活環境づくり《定住環境》	所属G	事業推進グループ	課長名	藤原重信
施策名	(13)消防・防災対策の推進	担当者名	新田利治	電話番号 (内線)	0854-42-3471
基本事業名	(039)危険箇所の対策実施	予算科目	会計 2:5 2:5 1:0 1:0 0:1 款 項 目 中事業	4610	公共下水道雨水施設整備事業

1 現状把握の部

(1)事業概要

①事業期間	②事業の内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③開始したきっかけ (いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度~) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (16年度~25年度)	計画面積 A=97ha 区域外面積 A=32ha 雨水流出量 V=13.1m³/s	合併前から事業着手 木次、三刀屋にかかる下熊谷地区の浸水対策事業

(2)トータルコスト

①事業費の内訳(概要)	支線詳細設計一式:5,001千円	事業費	国庫支出金	千円	43,500	54,500	2,500	25,000	2,500	283,000
			県支出金	千円						
			地方債	千円	45,500	66,700	2,500	25,000	7,500	317,200
			その他	千円	4,325	59	1	50		15,090
			一般財源	千円						
			事業費計(A)	千円	93,325	121,259	5,001	50,050	10,000	615,290
②延べ業務時間の内訳(業務の流れ等)	設計→入札→施工管理→出来高払い→清算設計→検査	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1			
			延べ業務時間	時間	800	540	540			
			人件費計(B)	千円	3,051	2,100	2,129	0	0	
			トータルコスト(A)+(B)	千円	96,376	123,359	7,130	50,050	10,000	

(3)事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
	23年度実績(23年度に行った主な活動)	⑤ 活動指標							
	支線詳細設計一式	ア 暗渠工	m	72	135	0	0	0	404
	24年度計画(24年度に計画している主な活動)	イ 開渠工	m	0	0	0	150	50	580
	開渠工 L=150m	ウ 樋門工	式	0	0	0	0	0	1
		エ							
		オ							

目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
	計画区域内(下熊谷地区)の住民及び家屋等	⑥ 対象指標							
		ア 流域面積	ha	97	97	97	97	97	97
	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	⑦ 成果指標							
豪雨時に家屋等が浸水しないようにする。	ア 整備面積	ha	21.3	65	65	97	97	97	
	イ								
	ウ								
上位目的	④ 結果(どんな上位目的に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標							
浸水被害の減少を図る。 定住化の促進を図る。	ア 施設整備率	%	22.0	67.0	67.0	100.0	100.0	100	
	イ								

(4)事務事業の環境変化、住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は どう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と 比べてどう変わったのか?	② この事務事業に関する これまでの改革改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して関係者 (市民、議会、事業対象者、利害関係者等)から どんな意見や要望が寄せられているか?
合併前の木次三刀屋公共下水道事務組合が採択を受けた。雲南市の中心市街として、住宅や大型店舗も進出している。宅地化が進み保水機能が損なわれると、強制排水ポンプの設置も検討しなければならない。	幹線の新田川の一部については、国道54号の4車線計画に併せ国土交通省が工事をしたため、事業費の軽減ができた	関係住民(受益者)から早期完了の要望が寄せられている

事務事業名	公共下水道雨水施設整備事業	所属部	上下水道部	所属課	下水道課
-------	---------------	-----	-------	-----	------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ 防災対策の推進により、環境に配慮した安全・快適な生活環境づくりへとつながる
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ 公共施設の整備であり、多額な事業費もかかるため、市が行うことが妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 事業採択時の計画に基づき区域を設定している。現在のところ、追加・拡充する必要はない。
有効性評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 事業計画に基づき区域を設定しており、排水区域を網羅しているため成果の向上余地はない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 幹線については完了したが、枝線を整備することにより効果を発揮するため廃止はできない。
効率性評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒【具体的な手段, 事務事業】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 近傍に類似事業が無いいため、統廃合・連携はできない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 適正な設計・積算を行っており、削減する余地はない。国道54号の4車線化工事に併せ、国土交通省が一部工事をしたため、事業費節減(約200百万円)につながった。
公平性評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託できないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 必要最低限の人員及び業務時間で業務を行っているので人件費の削減余地はない。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 公共施設(雨水排水管路)の整備であり、受益者負担はない。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	三刀屋町地内の幹線については、平成22年度で完了した。国道54号の4車線化工事に併せ、国土交通省が一部工事をしたため、事業費節減となった。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	●			維持			×		低下		×	×
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上	●																					
	維持			×																			
	低下		×	×																			

(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
この事業は水路整備と樋門の新設であり、宅地化が進んだ場合は関係部局により、他事業で強制排水ポンプを検討する。